

事業所名

ジュン・ハート 白石

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念	子どもの成長発育段階において心配があったり、障がいのあるお子様の育ちをご家族と一緒に見守り、発達心理学を基に体育（運動療育）を中心に、身体能力の向上と社会適応を目指した療育を目指す。						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適應することができるよう、事業所において、適切かつ効果的な指導訓練を実施する ・利用児が、生活能力の向上のために、必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、事業所において、適切かつ効果的な指導訓練を実施する 						
営業時間	単位1 月～金	9 時	00 分から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり
	単位2 月～金	13 時	00 分から	19 時	00 分まで		
	単位2 土曜日	9 時	00 分から	15 時	00 分まで		
	単位3 月～金	15 時	00 分から	19 時	00 分まで		
	単位3 土曜日	9 時	00 分から	15 時	00 分まで		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の把握：来所時の視診、検温、自身の体調を可視化できるツールを使用し、利用者の健康状態を把握します。また、それらを含めた身支度等を自身で行うことで、日常生活スキルの獲得を目指します。 スケジュールの提示と理解の支援：各利用者に対応できるよう、その日の予定をホワイトボードに提示し、個別の理解を深めるために細分化した予定表を活用しています。 運動療育による健康維持：運動療育を通じて健康の維持や気持ちの発散を促し、個別に合わせた配慮を行っています。 就労準備的観点：就労に向けた健康管理の意識づけとして、体調管理や生活リズムの確立を促す活動を取り入れます。					
	運動・感覚	基本的な運動能力の向上：「跳び箱・鉄棒・マット・縄跳び」等の器械体操や、「36の動き（操作系・平衡系・移動系）」を取り入れ、ボディイメージの形成や感覚統合、筋力の向上を目指します。 道具を活用した感覚刺激：様々な道具に触れることで、物の特性を理解しながら、触覚へのアプローチや感覚面の発達を促します。 微細運動の発達支援：作業訓練の一環として、書類整理や軽作業（封入作業、シール貼りなど）を取り入れ、手指の巧緻性の向上と集中力の向上を目指します。					
	認知・行動	時間・場所・場面の理解と適切な振り舞い：戸外での活動等を通して、「時間・場所・場面」を意識した行動ができる事を目指し、ルールの確認や、子どもたち主体でルールを決める取り組みを実施しています。 時間を意識した行動支援：予定の時刻をあらかじめ提示したり、音楽を流したりすることで、子どもたちが時間を意識し、自分で判断・行動できるように環境を整えています。 就労準備的観点：就労準備型として、社会で生きていくための基礎学習として、お金を使った算数や金銭感覚を養う活動を行います。また、イベントの企画・立案を利用者主体で行い、セルフプランニング学習を実施します。これにより、計画的思考や責任感を育むことを目指します。					
	言語 コミュニケーション	相手を理解し、伝える力の向上：異年齢同士の関わりを通して、相手に伝わる表現方法を身に付けたり、価値観の違いを感じながら、他者を受け入れる力の向上を目指します。 感情や気持ちを伝える経験の促進：子どもたちの発達や特性に合わせて「絵カード」や「感情カード」などのツールを使用し、自身の感情や気持ちを他者に伝える経験を積めるよう環境を整えています。 語彙力の向上支援：アナグラムや文字を使ったパズルなどを活用し、語彙の獲得を促す活動を実施しています。 就労準備的観点：自身の理解や相手からどのように思われるかなどの伝え方や礼節を身に付けられるような内容やプランニングの実施を通して、利用者同士での意見交換や会議の実施等、「働く」に着目した内容を取り入れています。					
	人間関係 社会性	ルールを通じた社会性の向上：ルールのある遊びを利用者主体で行いながら、小集団での関わり合いを経験し、社会性の向上を目指します。 遊びを通じた対人関係の学び：友達と関わる楽しさや葛藤など、様々な感情を経験する中で、それらの伝え方や相手の気持ちを考えることをスタッフと一緒に学びます。また、適切な関わり方を提案しながら、より良い人間関係の構築を支援します。 就労準備的観点：職場での適応力を高めるため、挨拶や報告・連絡・相談の重要性を学ぶ場を設け、就労に向けた準備を進めます。また、相手に自身を伝えること、自分を客観的に見ることなど、価値観の広がりを促せるようにします。					
家族支援	日頃の様子や課題の共有と助言：面談や送迎時のフィードバックを通して、日頃の様子や課題、困り感を共有し、ご家庭での取り組み方法の提示や助言を必要に応じて行います。 関係機関との連携：利用者の状況に応じて、関係機関と連携し、情報共有を実施します。			移行支援		転園・就学時の支援等、利用児が安心して新しい環境に適應できるよう、必要に応じて環境調整や支援の配慮を行います。関係機関と連携し、支援内容の引き継ぎを実施することでスムーズな移行をサポートします。	
地域支援・地域連携	他の通所支援事業所や学校と連携を図り、情報共有を行います。地域の支援機関と連携し、包括的な支援体制を整えます。			職員の質の向上		定期的に社内研修を実施し、職員の専門性向上を図ります。社外研修への参加を推奨し、最新の知識や技術の習得を支援します。OJTを取り入れ、実践的なスキルアップを目指します。自己啓発制度を制定し、職員の成長をサポートします。	

主な行事等

- ・ 季節に合わせた活動内容を取り入れ、子どもたちが主体的に「企画・計画」し実施しています。（夏祭り・クリスマス会・卒業、進級式等）
- ・ 宿泊イベント ・ カフェ体験（大地ノ青果店 カフェ&デリ 白石 提供）
- ・ コーチになってみよう（利用者が年下の子に体操を教える体験）